機器導入ガイド

日本語

Magnus VLF（マルチカセットユニット付き）

ドキュメント番号 725-00034B-A-PR01-JA

graphics.kodak.com

Kodak

著作権

© 2006 Kodak. All rights reserved.

Creo および Creo ロゴは、コダックの商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Distiller、Photoshop、PostScript、および PageMaker は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple、iMac、Power Macintosh、Mac OS、AppleShare、AppleTalk、TrueType、ImageWriter、および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

PANTONE、Hexachrome、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は、Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLsetter、PEARLhdp、PEARLdry、および PEARLgold は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX® は、XEROX CORPORATION の商標です。

http://graphics.kodak.com/

ドキュメント番号 725-00034B-A-PR01-JA

改訂 2007 年 1 月

内容

Magnus VLF マルチカセット ユニット付き 機器導入ガイド 1

はじめに ... 1
必要なツール ... 1

機器の概要 2

オプション ... 2
サイズおよび重量 ... 2
ケーブル、コネクタ、およびソケット ... 4

設置場所の条件 8

設置面積と作業範囲 ... 8
デブリスシステム ... 11
環境条件 ... 11
床面の条件 ... 12
床面の確認手順 ... 12
床の振動 ... 13
電気的条件 ... 13
電力特性 ... 14
放熱 ... 14
電源電圧と周波数 ... 14
電源系統の障害 ... 15
エア サプライ ... 15
換気 ... 16
電話回線との接続 ... 16
ネットワーク ... 17
メディアと自動現像機 ... 17

配送 18

責任の範囲 ... 18
フォークリフト ... 18
ドアと通路 ... 18
搬送用クレート ... 19

Magnus VLF マルチカセット ユニット付き 機器導入ガイド

はじめに

製品をお使いいただく前に、まずこのガイドをお読みください。このガイドには、Magnus VLF（MCU）（マルチカセット ユニット付き）設置準備に関するガイドラインが記載されています。

設置場所がすべての条件を満たしていることを確認する際には、サービス担当者がお手伝いいたします。機器に適した環境をご用意いただくことにより、導入日程の遅れや導入後の問題を未然に防ぐことができます。

このガイドでは、次の項目について説明します。

- デバイスの環境設定
- 床面積の条件
- デバイスの寸法
- 重量の条件
- 電気系統の条件
- デブリス システムの条件
- 環境条件
- 換気条件
- ネットワークとモデムの条件
- 自動現像機の仕様

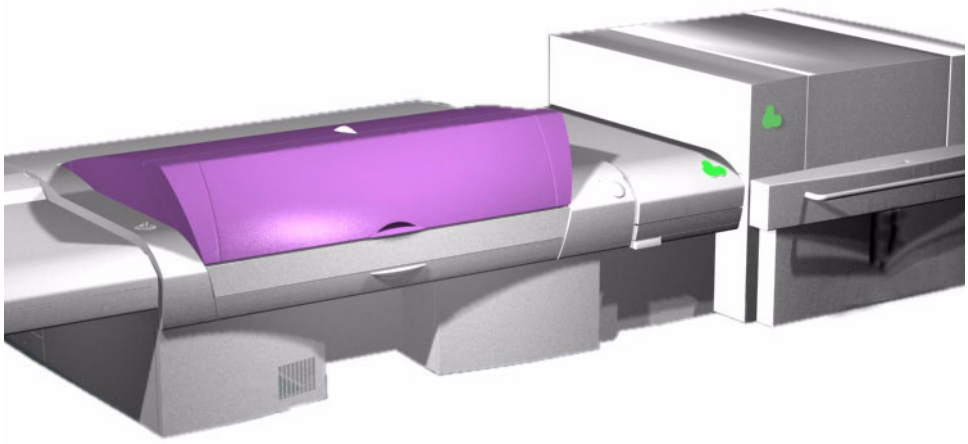
コダック サービス担当者が付録 B にある「設置場所の確認用 チェックリスト」に記入する際に、お客様のお立会いをお願いします。Magnus VLF セミオートマチック をご注文の場合は、『Magnus VLF 機器導入ガイド』（725-00032A）のチェックリストを参照の上、ご記入ください。Magnus VLF コンティニュアスロード モデルをご注文の場合は、『Magnus VLF 機器導入ガイド』（725-00033A）のチェックリストを参照の上、ご記入ください。

必要なツール

- 床面ゲージ（90-1187）：デバイスを設置する床面の平面度を計測する水準器です。12 ページの「床面の確認手順」を参照してください。
- 巻尺：15 m（50 フィート）
- 電圧計

機器の概要

Magnus VLF MCU 出力デバイスは、次の標準コンポーネントから構成されています。



- 外部ドラム イメージング エンジン
- イメージング ヘッド
- 4 ベイ マルチ カセット ユニット、自動合紙除去、および自動ロード／アンロード システム
- 引き出し式ロード テーブル
- 内部デブリス システムおよびサーマルヘッド冷却システム。デブリス システムは、露光するメディアからデブリスを除去するための バキューム ポンプとフィルタ システムで構成されています。

オプション

- デリケート メディア ピッカー
- リーディング エッジ パンチ システム
- デュアル サイド エッジ見当を使用するプレート ローディング (6 レジストレーション ピン)

サイズおよび重量

3 ページの図 1 は、Magnus VLF MCU コンポーネントの最大サイズおよび重量を示しています。寸法は、システムにパネルを取り付けた状態で正面から測定したものです。幅は X 軸方向、奥行きは Y 軸方向の長さです。

配送時のクレートのサイズについては、19 ページの図 6 を参照してください。

表 1：Magnus VLF MCU コンポーネントのサイズと重量

コンポーネント	幅	奥行き	高さ	重量（概算）
出力デバイス	3,226 mm（127 インチ） これに、サイド イジェクタ ブリッジの幅 325 mm（12.8 インチ）を加えてください。	（2,590 mm）（102 インチ）	• トップ パネル上部まで：1,143 mm（45 インチ） • • 開けた状態のトップ パネル上部まで：2,200 mm（86.6 インチ）	2,255 kg（5,170 ポンド）
マルチ カセット ユニット (MCU)	• 2,230 mm（87.8 インチ） • サイド パネルを取り外した状態で：1,740 mm（68.5 インチ） **重要**：取り外したパネルを元に戻す作業には時間がかかります。パネルを取り外す必要がある場合は、元に戻す作業に半日を見積もってください。	2,850 mm（112.2 インチ）	1,660 mm（65.4 インチ）	• 1,905 kg（4,200 ポンド） • プレートによる加算重量：63 x 83 インチを満載した状態（300 枚）で 943.5 kg（2,080 ポンド）
合紙除去 ユニット（SSR）	835 mm（32.9 インチ）	2,212 mm（87.0 インチ）		91 kg（200 ポンド）（合紙ボックスが一杯の状態で）。合紙ボックスの容量は、フル サイズで 100 枚です。
ドラム バキューム ポンプ（通常はイジェクタ ブリッジの下にあります）	670 mm（26.4 インチ）	1,435 mm（56.5 インチ）	510 mm（20 インチ）	168 kg（370 ポンド）
ワーク ステーション	構成により異なる			

ケーブル、コネクタ、およびソケット

表 2 ～ 4 は、出力デバイスに付属またはユーザーが準備する必要のあるケーブルとコネクタを示しています。また、7 ページの図 5 は、エアサプライおよびネットワーク接続を示しています。

表 2：ケーブルおよび接続—北米

ケーブル	付属品	お客様にご用意いただくもの[a]
出力デバイス用主電源	付属の 4.5 m（15 フィート）電源ケーブル 2 本（L6-30P プラグ付）	単相 30 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット（L6-30R ソケット付、ロック式）2 回路。時間遅延型の 30 A サーキット ブレーカーが必要です。
ワークステーション用電源	着脱式 2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（5-15P プラグ付）	• 単相 15 A、120 V 専用分岐サーキット（5-15R ソケット付）。 • 必要に応じて 2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（**無停電電源装置（UPS）付き**）。
ドラム バキューム ポンプ用電源	4.5 m（15 フィート）電源ケーブル（L6-30P プラグ付）	単相 30 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット（L6-30R ソケット付）
ドラム バキューム ポンプのホース	15 m（49.5 フィート）ホース	
ドラム バキューム ポンプのシリアル ケーブル	18 m（60 フィート）（電源ボックス内に接続）	
電話回線	モデムおよびシリアル ケーブル モデムの電源は、UPS に接続できます。	モデムに接続する専用電話回線 2 本および RJ11 ケーブル（ワークステーションに届く長さ）。電話回線のうち 1 つはワークフローに接続し、もう 1 つはリモート サポート用です。
ワークステーションからデバイスへのケーブル	30 m（100 フィート）Ethernet ケーブル	

a. 入力電圧の許容誤差は、+6% ～ -10% です。電源周波数の仕様は、60 Hz ± 1.5% です。分岐サーキットにはトリップ時間遅延機能を持つサーキット ブレーカを設置し、インラッシュ電流による過敏なトリップを防止してください。詳細については、13 ページの「電気的条件」を参照してください。

表 3：ケーブルおよび接続—ヨーロッパ、オーストラリア、東南アジア

ケーブル	付属品	お客様にご用意いただくもの[a]
出力デバイス用主電源	付属の 4.5 m（15 フィート）電源ケーブル 2 本（IEC309 32 A プラグ付）	単相 32 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット（IEC309 32 A ソケット付）2 回路。時間遅延型の 32 A サーキットブレーカーが必要です。
ワークステーション用電源	着脱式 2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（IEC320 プラグ付）	• 単相 8 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット。 • IEC 320、Type C13 コネクタ（8 A ケーブル付）。2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（必要に応じて UPS 付）。
ドラム バキューム ポンプ用電源	4.5 m（15 フィート）電源ケーブル（IEC309 32 A プラグ付）	単相 32 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット（IEC309 32 A ソケット付）。
ドラム バキューム ポンプのホース	15 m（49.5 フィート）ホース	
ドラム バキューム ポンプのシリアル ケーブル	18 m（60 ft）（電源ボックス内に接続）	
電話回線	モデムおよびシリアル ケーブル モデムの電源は、UPS に接続できます。	モデムに接続する専用電話回線 2 本および RJ11 ケーブル（ワークステーションに届く長さ）。電話回線のうち 1 つはワークフローに接続し、もう 1 つはリモート サポート用です。
ワークステーションからデバイスへのケーブル	30 m（100 フィート）Ethernet ケーブル	

a. 入力電圧の許容誤差は、+6% ～ -10% です。電源周波数の仕様は、50 ／ 60Hz ± 1.5% です。分岐サーキットにはトリップ時間遅延機能を持つサーキット ブレーカを設置し、インラッシュ電流による過敏なトリップを防止してください。詳細については、13 ページの「電気的条件」を参照してください。

表 4：ケーブルおよび接続—日本

ケーブル	付属品	お客様にご用意いただくもの[a]
出力デバイス用主電源	付属の 4.5 m（15 フィート）電源ケーブル 2 本（IEC309 32 A プラグ付）	単相 32 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット 2 つ（IEC309 32 A ソケット付）時間遅延型の 32 A サーキット ブレーカーが必要です。
ワークステーション用電源	着脱式 2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（IEC320 プラグ付）	• 単相 8 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット。IEC320、Type C13 コネクタ（8 A ケーブル付）。 • 2.5 m（8.2 フィート）電源ケーブル（必要に応じて UPS 付）。
ドラム バキューム ポンプ用電源	4.5 m（15 フィート）電源ケーブル（IEC309 32 A プラグ付）。	単相 32 A、200 ～ 240 V 専用分岐サーキット（IEC 309 32 A ソケット付）。
ドラム バキューム ポンプのホース	15 m（49.5 フィート）ホース	
ドラム バキューム ポンプのシリアル ケーブル	18 m（60 ft）（電源ボックス内に接続）	
電話回線	モデムおよびシリアル ケーブル モデムの電源は、UPS に接続できます。	モデムに接続する専用電話回線 2 本および RJ11 ケーブル（ワークステーションに届く長さ）。電話回線のうち 1 つはワークフローに接続し、もう 1 つはリモート サポート用です。
ワークステーションからデバイスへのケーブル	30 m（100 フィート）Ethernet ケーブル	

a. 入力電圧の許容誤差は、+6% ～ -10% です。電源周波数の仕様は、50 ／ 60 Hz ± 1.5% です。分岐サーキットにはトリップ時間遅延機能を持つサーキット ブレーカを設置し、インラッシュ電流による過敏なトリップを防止してください。詳細は、13 ページの「電気的条件」を参照してください。

表 5：エア サプライおよびネットワーク接続

その他の接続	付属品	お客様にご用意いただくもの[a]
ネットワーク接続 （ワークフローへの接続用）	Ethernet： 100 Base-T（RJ-45）以上 FDDI：Duplex SC	• ネットワーク接続、およびワークステーションに届く長さのケーブル。 • RAS 接続用の連続する IP アドレス 2 つ、およびユーザーのネットワークに接続する LAN 用の IP アドレス 1 つ。
作業用エア サプライ（専用供給を推奨—15 ページの「エア サプライ」を参照）	デデバイス側に 0.5 インチ NPT メス型コネクタ（クイック コネクタ付）	最小内径（ID）0.5 インチ、端末にデバイスへの接続用 0.5 インチ NPT オス型コネクタ付きのフレキシブル ホース 2 本。 エア システムは、40 SCFM @ 90 psi（最小）～ 120 psi（最大）の動的エア サプライ性能が必要です。 ホースはできる限り短くし、つぶれたりよじれたりしないようにしてください。ホースの長さが 12 m（40 フィート）を超える場合は、**内径の大きいものを使用してください。**

a. エア サプライの場所については、8 ページの「設置面積と作業範囲」を参照してください。詳細は、15 ページの「エア サプライ」と 17 ページの「ネットワーク」を参照してください。

設置場所の条件

設置面積と作業範囲

このデバイスの設置に必要な面積は、次のとおりです。

幅 = 7,116 mm（280.1 インチ）、サイドイジェクタブリッジを含む

奥行き = 2,850 mm（112.2 インチ）

作業範囲と面積の推奨条件については、9 ページの図 1、10 ページの図 2 を参照してください。操作および保守のため、デバイス前面に 1,830 mm（72 インチ）、側面と背面に 915 mm（36 インチ）以上を確保することをお勧めします。緊急用のメディア、ディスク、マニュアルなどの保管場所をデバイスの近くに用意してください。

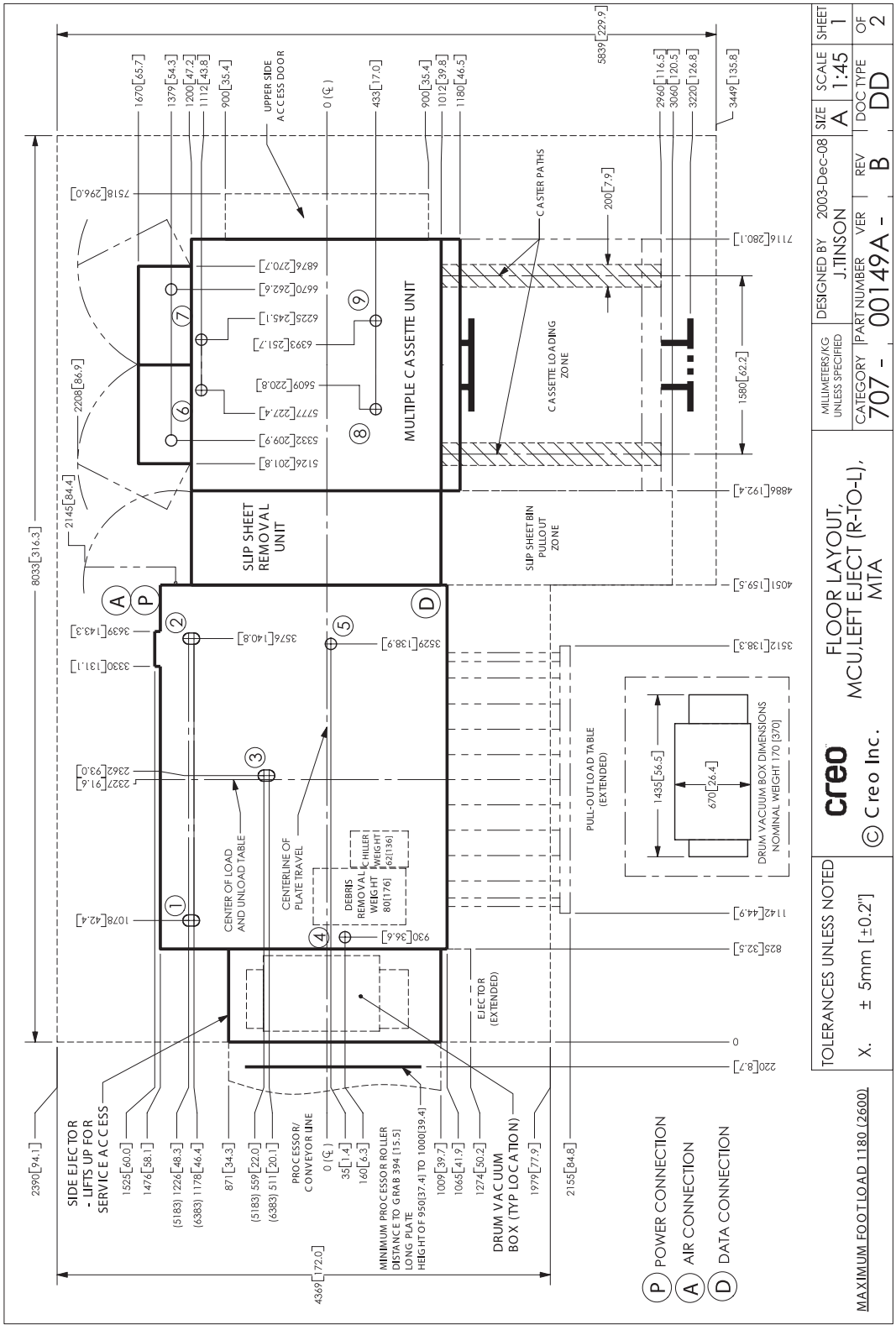


図 1: Magnus VLF MCU 作業範囲と面積（左排出の場合）

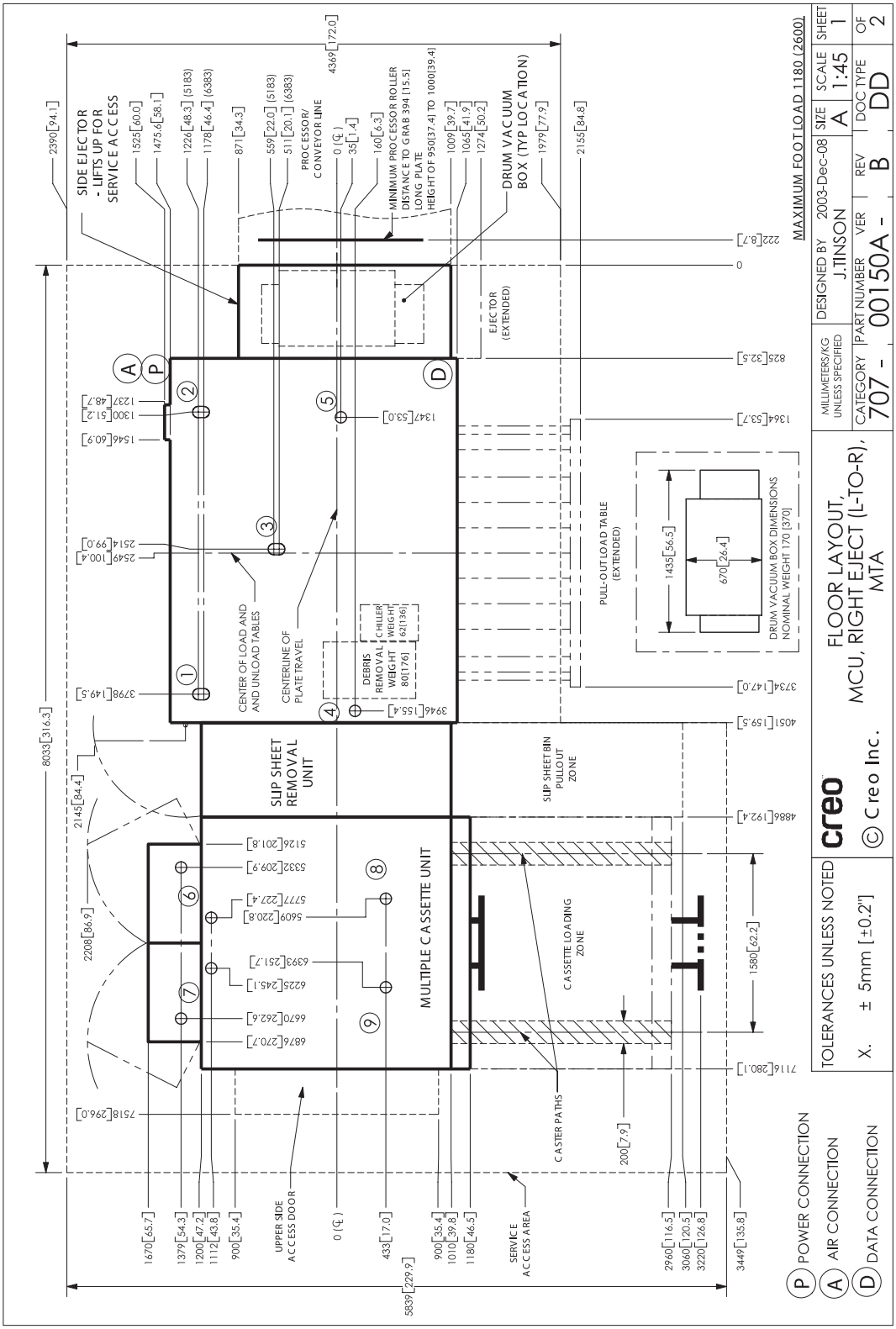


図 2: Magnus VLF MCU 作業範囲と面積（右排出の場合）

デブリスシステム

一部の出力メディア（プレートまたはフィルム）では、イメージング処理中に排出物が発生する場合があります。Magnus VLF MCU には、サーマル ヘッドとフィルタ ユニットに集塵ノズルが付いたデブリス システムが付属しています。

警告：粒子排出物またはガス排出物が正しくろ過されない場合は、健康に害を及ぼす可能性があります。お使いのメディアに関連する排出浮遊物の一覧については、メディアの製品安全データ シート（MSDS）を参照するか、メディアのメーカーまたは代理店に直接お問い合わせください。

デブリス システムは排出物を抽出し、ろ過するために設計されています。そのため、このシステムを使用すると作業環境衛生の改善、イメージング品質の均一化、およびイメージング デバイスの全般的な信頼性とクリーン性の向上に役立ちます。一部の種類のメディアでは、一般的に微粒子およびガスの両方が排出されます。その他の種類のメディアでは、特定条件でのイメージング中に多量の微粒子を排出する場合があります。

警告：フィルタは排出物に対して完全な効果があるわけではありませんので、適切な外気との換気で効果を補う必要があります。適切な換気を怠ると、適用される法的規制を超える粒子状の排出物にさらされる場合があり、不快感や病気、怪我、または身体障害の原因となる可能性があります。

デブリス システムの構成には、特定の認定メディア タイプに合わせたさまざまなフィルタ オプションが含まれている場合があります。作業環境でのシステム構成は、通常、コダックの提案書、販売契約書、注文書、製品仕様書、または同等の文書で指定されます。

環境条件

システムは、清掃、整頓された清潔な作業場に設置してください。デバイスをプレスルーム環境に設置することはお勧めしません。

Magnus VLF MCU デバイスのオペレーティング環境は、次の条件を満たしている必要があります。

温度　17 ～ 30°C (63 ～ 86°F)

湿度　20 ～ 60% RH（結露しないこと）[1]

注意：一部の種類のメディアでは、Magnus VLF MCU システムのオペレーティング環境が制限される場合があります。メディアの取り扱い方法や保管に適した温度と湿度については、メディアのメーカーにお問い合わせください。

1. デブリス システムにケミカル フィルタが取り付けられている場合は、30 ～ 60% RH、結露しないこと。

床面の条件

設置場所の横方向の傾斜または起伏が ± 12.7 mm（± 0.5 インチ）以内の水平な床である必要があります。MCU をキャスターで移動する範囲では、キャスターの障害となる隆起面がなく、傾斜または起伏が ± 6.35 mm（± 1/4 インチ）以内である必要があります。

最大床荷重の仕様は次のとおりです。

- 最大点荷重：1,180 kg（2,600 ポンド）
- 載荷圧力：脚面積あたり 1.82 MPa（264 psi）（38,016 ポンド／フィート ^{2}）
- 床荷重（平均）：287 kg/m^2（59.9 ポンド／フィート ^{2}）（カセット全部を含み、ドラム バキューム ユニットは除く）

床面の確認手順

この手順により、作業環境の床が Magnus VLF MCU 出力デバイスの設置条件を満たしているかどうかを判定できます。確認を行うには、レイアウト図面、巻尺、およびゲージ（フロア レベル ゲージ 90-1187 を注文可能）が必要です。

1. 2 つのゲージと 7.5 m のホースをキャリング ケースから取り出し、ホースを伸ばします。
2. 2 つのゲージを流しに置き、水をいっぱいまで入れます。
3. ゲージを流しから出し、机やテーブルなどの高い面に置いてセットします。ホースをぶら下げた状態で、気泡を取り除きます。
4. 各ゲージのキャップを 2 回まわして開け、空気を入れます。キャップは取り外さないでください。両方のゲージ内の水は、同じ高さになります。
5. 外側の O リングを、水位が中心に来るようにずらします。
6. 両方のゲージを、出力デバイス設置場所の中心近くの床の上に置きます。
7. 1 つのゲージを床のさまざまな位置に移動し、もう 1 つのゲージは動かさずに置いて比較します。ゲージを移動しながら注意深く確認します。水位がゲージのラインより上になる場所（床が条件を満たしていない場所）で、床に印を付けます。

   注意：床のゆがみを測定するには、水位線から O リングの中心までを定規で測ります。レイアウト図面を見ると、ゆがみが脚の近くにあるかどうかを判別できます。
8. ゲージの水を抜いて両方のキャップをしっかりと閉め、水漏れがないことを確認します。次に、ホースとゲージをケースに戻します。

床の振動

作業環境が交通量の多い道路や線路に近い場合や、工業地域にある場合、激しい振動が床からデバイスに伝わる可能性があります。振動レベルを確認するには、以下の手順に従います。

1. 感度 1,000 mV/g の加速度計プローブ（Kistler PiezoBeam 加速度計、8628B5 型など）をアナライザにつなぎます。
2. 約 50 mm（2 インチ）平方の金属ブロックにプローブを取り付けます。
3. 金属ブロックを出力デバイス近くの床の上に置き、垂直方向の振動を測定します。
4. アナライザの分析範囲を、0 ～ 200 Hz（X 軸）および 0 ～ 10 mg（0 ～ 0.01 g）（Y 軸）に設定します。
5. 作業環境で振動が最大となるとき、床の 0 ～ 200 Hz までの振動スペクトルを測定して記録します。
6. 手順 5 を 5 回以上繰り返してください。

   このテストにより、周波数 30 ～ 150 Hz の範囲でエンジンに伝わる振動加速がわかります。振動加速が 2 mg（0.002 g）を超える場合、振動スペクトルの結果を弊社サポート センターに送り、より詳細な分析を行ってください。

電気的条件

必要な電源電圧の詳細は、4 ページの「ケーブル、コネクタ、およびソケット」の「お客様にご用意いただくもの」を参照してください。

注意：次のコンポーネントに使用する専用分岐サーキットは、同じ AC 電源パネルから供給し、すべての分岐サーキットが同じ接地電位にあるようにします。

- 出力デバイス用主電源
- ドラム バキューム ポンプ用電源
- ワークステーション用主電源

図 3 には、出力デバイスおよび周辺機器で使用するソケットの構成を示しています。

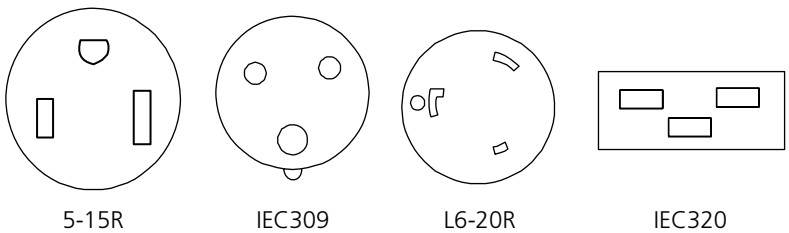


図 3: Magnus VLF デバイスで使用するソケット

電力特性

電源に問題がある可能性がある場合は、電源モニタを設置して電力特性を測定する必要があります。電源が安定していない場合、安定化電源が必要となることがあります。地域の電源に問題がある場合は、お近くのサービスにご確認ください。

作業環境の電力特性がデバイスの仕様（+6% ／ -10%）を満たしていない場合、機器の回路用に安定化電源を購入する必要があります。

作業環境の電力特性に問題（停電または電圧低下）がある場合は、お近くの販売店でオンライン UPS を購入してください。UPS はデバイスを正しく完全にシャット ダウンするために設計されています。これに対し安定化電源は、電力特性が Magnus VLF MCU の仕様を満たしていない場合でも、一定期間、デバイスが動作できるように設計されています。



注意：UPS には、安定化電源に相当する機能はありません。

UPS の仕様については販売店にお問い合わせください。

注意事項

ワークステーションの電源ケーブルのプラグを抜いて、デバイスを遮断する場合があります。このため、分岐サーキット用ソケットは、ワークステーションの近くで、容易に手が届く場所に設置する必要があります。

放熱

出力デバイスの定格放熱量は 4,400 W（15,010 BTU/ 時）です。

電源電圧と周波数

設置場所での電源電圧は Magnus VLF MCU の定格電圧である 200 ～ 240V の +6% ～ -10%、つまり 180 ～ 254V を保つ必要があります。また、電源周波数は 50 ／ 60 Hz ± 1.5% です。

電気技術担当者の方は、デバイスに電源を供給するための正しいソケットを設置場所に取り付けてください。デバイスとワークステーションの電源は別の回路から供給される必要があります。指定範囲の許容誤差の入力電圧を得るには、バランスのとれた電力供給（L1-G=L2-G、または L1G=L1-N）が必要です。

機器の高圧漏れ電流に対応するため、電源コネクタには、北米ではロック機構付きのものを、またヨーロッパでは Industrial Type B を使用する必要があります。周波数は、50 ／ 60 Hz ± 1.5% です。

電源系統の障害

コンピュータ システムを正常に動作させるには、ノイズの少ない AC 電力が不可欠です。オフィスや工場の機械・機器によく見られる照明、断線、スイッチ ON ／ OFF は、供給電圧のピーク値をはるかに上回るライン過電流を発生させることがあります。このようなマイクロ秒のパルスを減衰しなければ、システムが一時的とはいえ使用不能になりかねません。デバイスの電源系統は、電気的ノイズを発生する電源ケーブルから離してください。電源系統の障害がデバイスの操作に影響を与えている場合は、電力安定器の使用を強くお勧めします。

電力低下の許容範囲は、公称電圧の 30% で 10 ミリ秒以下です。電源系統の高速過渡応答の限界は 1.0 kV です。

エア サプライ

出力デバイスの作業場所の空気には、清潔で乾燥した 1150 SLPM @ 620 ～ 830 kPa（40 SCFM @ 90 psi ～ 120 psi、動的範囲）のエア サプライが必要です。ただし、静的に 120 psi を超えないようにしてください。[1]



注意：エアホース内に潤滑油が混入していないことを確認してください。

油が蒸発して Magnus VLF MCU に混入しないように、圧縮空気の温度が通常の室温を超えないようにしてください。

1. 空気の清浄度、流量、および空気圧の条件に関するガイドラインは、『Air Compressors for Kodak Output Devices（コダック出力デバイス用エア コンプレッサ）』（750-00006A）を参照してください。

換気

フィルタ システムはすべての排出物をろ過できるわけではありません（たとえば、一酸化炭素をコダック製フィルタでろ過することはできません）。このため、外気との換気をデブリス システムと併用する必要があります。室外への排気口は、出力デバイスにできる限り近い場所に設置する必要があります。

Magnus VLF MCU デバイスを使用するには、最低 1.1 m^3/ 分（40 cfm）[1] 以上の外気との換気が必要です。正しく換気を行うと、特定のメディアをイメージングする際に発生する排出物の蓄積を防止できます。[2]

外気との換気は、室内空調による循環のおよそ 10 ～ 30% の割合と推定できます。外気との換気は、室内空調による循環のおよそ 10 ～ 30% の割合と推定できます。適切な換気を施すには、3 ACH（Air Changes per Hour：1 時間あたりの換気回数）以上をお勧めします。

これらの推奨条件は、室内に出力デバイス 1 台のみを設置する場合に適用されます。その他のイメージング機器、自動現像機、オーブン、HVAC システムなどを使用する場合、作業環境への排出物が増加する可能性があるため、外気との換気量を増やす必要があります。

Magnus VLFMCU を設置する際には、お客様の責任において、室内の排気レベルを査定し、地方自治体や国などの就労者健康安全規定における必要条件を満たしていることを確認してください。排出物の量が不明な場合は、産業衛生に関する専門家による室内空気環境調査をお客様から依頼してください。

電話回線との接続

コダック ダイヤルイン サポートをご利用いただくため、他のデバイスとの共用ではない、ワークステーション専用の直通アナログ電話回線を用意してください。弊社がリモート サポートを行うことができるのは、他の機器と電話回線を共有していないコンピュータに対してのみです。必要な電話回線用コネクタについては、表 2 ～表 4 を参照してください。また、ダイヤルイン サポートの利用中にコダック カスタマ サービス担当者とお話しいただくため、出力デバイスの近くに別の音声電話回線をご用意ください。

1. これはデフォルト値です。現像液を使用しないタイプなど、一部のメディアでは換気量を多くする必要があります。特定のメディアに対する推奨値については、サービス担当者が配布する CTP Media Imaging Performance Database を参照してください。
2. 特定のメディアをイメージングする際に排出される有害化合物に関する情報については、メディアのメーカーの製品安全データシート（MSDS）または同等の文書を参照してください。

ネットワーク

お客様のネットワークに LAN（ローカル エリア ネットワーク）接続するため、出力デバイス用の LAN 接続と IP アドレスを 1 つ用意してください。

また、RAS 接続用に連続した静的 IP アドレスを 2 つ用意する必要もあります。これらの 2 つのアドレスは、DHCP プール内のアドレスから除外しておく必要があります。

サポートされているネットワーク インターフェイスについては、7 ページの図 5 を参照してください。

メディアと自動現像機

適切なメディアと自動現像機を使用し、メーカーが指定する現像液、水、および排水路と電源系統への接続を用意してください。



注意：現像液を使用しないタイプのプレートを使用している場合、これは適用されません。

また、使用するすべてのメディアのサイズと種類の一覧が必要です。リーディング エッジ パンチ オプションをご注文の場合は、パンチ ヘッドの取り付け、設定を行うためにパンチ済みメディアも必要になります。

自動現像機のプレート ローディングの高さは、950 ～ 1,000 mm（37.4 ～ 39.37 インチ）の範囲内でなければなりません。

配送

責任の範囲

コダックへの配送の指示は、お客様の責任において行ってください。また、クレートは、お客様の責任において設置場所に運び、荷降ろしをしてください。ただし梱包は解かないでください。クレートの荷降ろしは専門業者に依頼されることをお勧めします。地面からの高さが 1.2 m（4 フィート）あり、15.9 m（53 フィート）のトレーラーを停車できる積み降ろし場所が必要です。

クレートの開梱とデバイスの設置は、コダック サービス エンジニアが行います。

フォークリフト

クレートをデバイスの背面から持ち上げる場合は、機器の荷降ろし用に、積載重量が 2,268 kg（5,000 ポンド）以上のフォークリフトまたはクレーンをご用意ください。クレートを機器の側面から持ち上げる場合は、3,400 kg（7,500 ポンド）以上の積載重量が必要です。フォークの長さは 1.83 m（6 フィート）で、幅は 180 mm（7.1 インチ）以下、フォークの間隔は 910 mm（36 インチ）である必要があります。

ドアと通路

搬入口から Magnus VLF MCU の設置場所までのドアと通路は、パレットごと設置場所まで運べるように、障害物がない状態にしておいてください。運搬経路の見取り図を用意されることをお勧めします。すべてのクレートを移動するには、幅 2.4 m（8 フィート）、高さ 2.1 m（7 フィート）以上の空間が必要です。クレートの最大寸法については、19 ページの「搬送用クレート」を参照してください。

コンポーネントをクレートから出すと、開口部がもっと狭くても通過できます。各コンポーネントの寸法については、3 ページの図 1 を参照してください。

注意：積み降ろし場所から設置場所まで、すべての経路を歩いて確認してください。すべての出入口、開口部、および通路の寸法を測定し、すべてのコンポーネントを安全に運搬できる空間が十分にあることを確認してください。

コンポーネントをクレートから出してキャスターで運ぶ場合、経路の床は最大 680 kg （1,500 ポンド）の点荷重を支えられるものでなければなりません。強度が十分でない場合は補強が必要です。

搬送用クレート

通常、出力デバイスは、注文したオプションによって 4 ～ 13 個のクレートで搬送されます。表 6 は、航空貨物用クレートの各寸法（長さ×幅×高さ）および重量を示しています。注文したオプションによって、クレートの番号が 表 6 に記載されているクレート番号と異なる場合があります。

表 6：. クレートの寸法および重量（航空貨物用）

クレート番号	内容物	長さ	幅	高さ（インチ）	米坪量
1	Magnus VLF MCU	340.36 cm （134 インチ）	190.5 cm （75 インチ）	175.26 cm （69 インチ）	1,842.04 kg （4,061 ポンド）
2	Thermal 2 head (TH2) Thermal 3 head (TH3)	66.04 cm （26 インチ） 89.9 cm （35 インチ）	66.04 cm （26 インチ） 73.66 cm （29 インチ）	79.74 cm （31 インチ） 88.9 cm （35 インチ）	40.82 kg （90 ポンド） 124.74 kg （275 ポンド）
3	MCU	312.42 cm （123 インチ）	236.22 cm （93 インチ）	205.74 cm （81 インチ）	1,911.89 kg （4,215 ポンド）
4	MCU カセット	236.22 cm （93 インチ）	185.42 cm （73 インチ）	68.58 cm （27 インチ）	431.82 kg （952 ポンド）
5	イジェクタおよび トラック	411.48 cm （162 インチ）	40.64 cm （16 インチ）	35.56 cm （14 インチ）	140.62 kg （310 ポンド）
6	フェッチャーおよび トラック	441.96 cm （174 インチ）	35.56 cm （14 インチ）	30.48 cm （12 インチ）	110.22 kg （243 ポンド）
7	パネルおよび ブリッジ	220.98 cm （87 インチ）	157.48 cm （62 インチ）	124.46 cm （49 インチ）	459.94 kg （1,014 ポンド）
8	テーブルおよび トップ パネル	281.94 cm （111 インチ）	200.66 cm （79 インチ）	101.6 cm （40 インチ）	418.21 kg （922 ポンド）
9	SSR	243.84 cm （96 インチ）	91.44 cm （36 インチ）	142.24 cm （56 インチ）	356.07 kg （785 ポンド）
10	デブリス システム	99.06 cm （39 インチ）	66.04 cm （26 インチ）	91.44 cm （36 インチ）	118.84 kg （262 ポンド）
11	ドラム バキューム ポンプ	162.56 cm （64 インチ）	86.36 cm （34 インチ）	109.22 cm （43 インチ）	293.93 kg （648 ポンド）
12	M33 冷却装置 M75 冷却装置	73.66 cm （29 インチ） 83.82 cm （33 インチ）	55.88 cm （22 インチ） 68.58 cm （27 インチ）	99.06 cm （39 インチ） 101.6 cm （40 インチ）	92.99 kg （205 ポンド） 127.01 kg （280 ポンド）
	ワークステーション	構成により異なる			

A

注意

メディア（プレート／フィルム）によってイメージング中に排出物が発生する場合があります。ここでは、そのような排気に関する一般的な注意事項について記載します。特定のメディアに関する詳細については、メディア メーカーが提供する MSDS（製品安全データ シート）やマニュアル類をご参照ください。

印刷メディアをイメージングする際の副生成物には、アルデヒド（ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド）、酸化物（二酸化窒素、一酸化窒素、一酸化炭素）、揮発性有機化合物、オレフィン（ベンゼン、1,3-ブタジエン）、その他のガス状化合物（シアン化水素など）、および粒子状物質（ほこり）などが含まれる場合があります。このリストは包括的なものではなく、特定のメディアによっては、排出物の中にその他の化合物が存在する場合があります。

汚染を防ぎイメージングの信頼性を高めるために、認定されたメディアの使用に伴って、フィルタ ユニットを含むデブリス（排出物）除去キャビネット（UDRC など）を内蔵または外付けでコダック出力デバイスに搭載することがあります。フィルタ ユニットの仕様によって、埃のみを除去できるもの（UDRC - BP など）や、埃だけでなくイメージング時の副生成物も除去できるもの（UDRC - LC など）もあります。フィルタ ユニットのフィルタ交換を定期的に行うことが重要です。

ただし、すべての排出物をフィルタで効果的にろ過することはできません。コダック出力デバイスおよびフィルタ ユニットが設置された場所では、換気により外気を十分に取り入れる必要があります。換気割合の条件は、出力デバイスの『機器導入ガイド』、またはその他の該当するドキュメントのいずれかに記載されています。

コダックの管理または認識外の要因が含まれるすべての作業環境において、各地区および国の就労者健康安全規定（空気中汚染物の許容濃度に関する条例を含む）の遵守を保証することはできません。その要因とは以下のようなことですが、これに限定されません。

- 設置した部屋の換気を十分にしない、または部屋の空気の循環が少ないため、その部屋の一部または全体の排気の密度が通常より高い。
- コダックが認定または事前に確認していないメディアに出力する場合。特に、販売契約書、ユーザー契約書、発注書、サービス契約書、出力デバイスの仕様書、またはその他文書に記載された、デブリス（排出物除去）システムやフィルタ ユニットでの使用を認定されていないメディアを使用している。
- 製剤を変えたり、メディア メーカーが製造方法を認定後に変更したため、排気に変更がある（これにより予期していた排気とは成分が異なったり排気量が増える）。
- メディア メーカーによる潜在排気の調査が正しくないまたは完全でないためコダックに正しい情報が伝わっていない（これにより予期していた排気とは成分が異なったり排気量が増える）。
- 排気に含まれる複数の成分の混合によって、累積または相乗作用が起こる（これにより予期していた排気とは成分が異なったり排気量が増え、健康に害を及ぼす可能性がある）。
- 出力システムと他の機器からの排気が混合し、就労者健康安全規定に準拠しない、または累積の効果により機器ごとの排気で予期されるより影響が大きい。
- 排気の成分に対する個人の刺激感応性の相違により、より大きな影響を受けることがある。
- 機器または安全排気システムの改造、誤用、または誤ったメンテナンス方法により、排気量が増える。
- ユーザー ガイド、警告や注意のラベル、機器導入ガイド、またはその他のコダック マニュアルの指示に従わないために過剰な排気レベルに達する。
- 就労者健康安全規定や産業衛生基準が改定され、当初は安全とされていたシステムが、改定後に基準を遵守していないことが判明した。

要因の多くは上記のようにお客様またはメディア メーカーの管理下にあるため、フィルタ ユニットの使用を含めたすべての出力システムの設置および動作環境の下、いかなるプレートを使用した場合においても、作業者および他者によって好ましくないまたは有害であるとされる出力時の排気が発生しないことをコダックでは保証いたしかねます。
コダックの保証および責任の範囲は、該当する販売契約または顧客契約の一般条項で示されるものに限定されます。この注意事項、機器導入ガイド、またはその他の同様なドキュメントのいずれも、特定の動作レベルを約束または保証するものではありません。また、この注意事項、機器導入ガイド、またはその他の同様なドキュメントのいずれも、何かを保証するものではありません。作業環境が就労者健康安全規定やその他のガイドラインを遵守しているかどうかは、お客様の責任において常にご確認ください。

B

設置場所の確認用チェックリスト

Magnus VLF MCU と付属部品の配送、組み立て、設置の確認にはこのチェックリストをご活用ください。

設置場所に関する情報

会社名：

設置場所の住所：

配送先の住所：

設置場所までの道順：

最寄りの空港：

付近のホテル：

付近のレストラン：

連絡先情報

お客様のご担当者名：
役職：
電話／ FAX：
E- メール：

プリプレス管理者：
メンテナンス管理者：
ネットワーク管理者：

機器オペレータ：

オペレータの職歴およびコンピュータ スキルの概要：

注意： すべてのオペレータの方は、Microsoft Windows オペレーティング システムが搭載されたコンピュータを操作するスキルが必要です。トレーニングを受けるオペレータが 4 名様以上の場合は、設置後にもう 1 日、追加のトレーニングを予定していただくことをお勧めします。

デバイスの使用状況

1 日のシフト数：

シフト 1 の作業時間：

シフト 2 の作業時間：

シフト 3 の作業時間：

シフト 4 の作業時間：

使用するメディア

各デバイスで使用するプレートの種類とサイズをすべて記入してください。

単位：

☐ mm ☐ インチ

メディア タイプ[a,b]	プレート サイズ	1 日のプレートの平均使用枚数	通し枚数	作業内容（CMYK、スポット カラー、ハーフトーン、*Staccato*、テキストのみ）

a. コダックの認定メディアのみ使用できます。メディアの種類や処理方法がコダックの認定テストに準拠していない場合、イメージング速度に影響が出る場合があります。特定のメディアに関する情報については、弊社サポート センターにお問い合わせください。

b. プレートによっては、システムの動作環境が制限されることがあります。プレートの取り扱い方法や保管に適した温度と湿度については、プレートのメーカーにお問い合わせください。

外部プレート パンチを使用しますか？

☐ はい ☐ いいえ

パンチの名称とモデル：

取り付け日：

パンチの状態：

Magnus VLF プレート パンチ オプションは注文しましたか？

☐ はい ☐ いいえ

プレート パンチのレイアウト図を作成しましたか？

☐ はい ☐ いいえ

パンチのセットアップ用にパンチ済みプレートが利用できますか？

☐ はい ☐ いいえ

曲げ機を使用しますか？

☐ はい ☐ いいえ

曲げ機の名称とモデル：

取り付け日：

曲げ機とパンチの見当ポイントは、デバイスの見当ポイントと同じですか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

使用する印刷機

印刷機の名称とモデル：

使用する自動現像機

自動現像機の名称とモデル：

配送日：

高さと幅

自動現像機の電源および配管の条件を満たしていますか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

設置場所にあるその他のコダック製の機器

他のコダック製品が既に設置されていますか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

Magnus VLF MCU の設置時に、他の新しい機器／設備も取り付けますか？

☐ はい ☐ いいえ

設置する機器	設置日	コダックの設置担当者

作業場にあるコダック以外のメーカーの機器

作業場に既に設置されている他社の製品はありますか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

デバイス周辺の設置計画

このデバイスの周辺に他の機器（自動現像機など）を新しく設置する予定はありますか？

☐ はい ☐ いいえ

設置する機器	設置日	設置担当者

出力デバイスの設定

出力デバイスのモデル（該当するモデルを選択）：

☐ 4570 ☐ 5183 ☐ 5570 ☐ 6383

発注したワークステーションの種類：_____

発注したワークフローの種類：_____

イメージング ヘッドのタイプ

発注したサーマルヘッドのタイプはどちらですか？

☐ TH2 ☐ TH3

MCU から自動現像機への配置順

MCU の配置 左 右

設置場所の条件



注意： デバイスは、掃除および整頓された清潔な作業場に設置してください。

1. デバイスを設置する面積は十分ですか？設置場所で使用できる面積を測定してください。

   ☐ はい ☐ いいえ

   コメント：

2. 作業場所には梁などの障害物はありませんか？

   ☐ はい ☐ いいえ

   コメント：

3. 配送用のクレートを積み降ろし場所から設置場所まで移動するのは、お客様側の作業であることをご理解いただいていますか？

   ☐ はい ☐ いいえ

4. 使用するフォークリフトは条件を満たしていますか？（18 ページの「フォークリフト」を参照。）

   ☐ はい ☐ いいえ

5. 積み降ろし場所から設置場所までのドアや廊下は、配送用のクレートが通過するのに十分な広さがありますか？（18 ページの「ドアと通路」を参照。）

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

6. 積み降ろし場所にプラットフォームがあり、通常の航空貨物用トラックに対応していますか？（18 ページの「配送」を参照。）

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

7. デバイスの使用環境の温度はどのくらいと想定されますか？

温度の範囲：

8. 室内の温度調整システムは、デバイスと自動現像機を接続した状態で発生する熱負荷に対応できますか？（14 ページの「放熱」を参照。）

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

9. デバイスの使用環境の湿度はどのくらいと想定されますか？

   湿度の範囲： _____

10. 室内の湿度調整システムは、自動現像機の使用によって発生する湿気の負荷に対応できますか？

    ☐ はい ☐ いいえ

    コメント：

11. 設置場所は水平で、条件を満たしていますか？（12 ページの「床面の条件」を参照。）

    ☐ はい ☐ いいえ

    コメント：

12. 床は最大負荷に対応する条件を満たしていますか？（12 ページの「床面の条件」を参照。）

    ☐ はい ☐ いいえ

    コメント：

13. 設置場所の室内に、大型機械またはフォークリフトの通路がありますか？または、機器に振動を与える可能性のある道路または工場が設置場所の付近にありますか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

14. AC 電源の電圧は？

ワークステーション用
AC 電源電圧：

デバイス用 AC 電源電圧：

15. 電圧の調整が必要ですか？

☐ はい ☐ いいえ

必要な場合、安定化電源の発注は済んでいますか？

☐ はい ☐ いいえ

16. UPS は必要ですか？

☐ はい ☐ いいえ

必要な場合、UPS の発注は済んでいますか？

☐ はい ☐ いいえ

17. スローブロー ヒューズまたはブレーカー付きの 30 A 電源が 3 回線供給されていますか？また、デバイス専用のアースはありますか？詳細は表 2 ～ 表 4 を参照してください。

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

18. ワークステーション用に AC 電源が設置されており、デバイスの AC 電源と同じ電源パネルから供給されていますか？

☐ はい ☐ いいえ

コメント：

19. エア サプライは、仕様に従ってフィルタでろ過され、除湿されていますか？ (15 ページの「エア サプライ」を参照してください。)

☐ はい ☐ いいえ ☐ 別途発注済み

コメント：

20. 自動現像機の高さが条件を満たしていますか？（17 ページの「メディアと自動現像機」を参照。）

☐ はい ☐ いいえ

21. 電話用およびデータ通信用の電話回線が用意されていますか？

☐ はい ☐ いいえ モデム番号：

コメント：

22. 使用しているネットワーク接続の種類は何ですか？

23. RAS 接続に使用する連続した 2 つの TCP/IP アドレスを記入してください。（17 ページの「ネットワーク」を参照。）

1. _____
2. _____

フォローアップ

フォローアップは必要ですか？

☐ いいえ　このドキュメントに記載されている設置場所は、Magnus VLF MCU を迅速かつ正しく設置するためのすべての条件を満たしています。

☐ はい　デバイスを設置するに*先立ち*、設置場所の条件を確実に満たすためのフォローアップが必要です。

設置場所の条件の一覧から、未解決の項目を記入してください。

お客様のご担当者名：

電話／ FAX：

E- メール：

フォローアップに関する次回の連絡日：

設置場所の確認完了

お客様側のご担当者 1 名以上にお立ち会いいただき、コダック担当者は _____（年／月／日）に設置場所の確認を行いました。

コダック側担当者： _____

署名： _____

☐ お客様は、『Magnus VLF MCU 機器導入ガイド』（725-00034B-A-PR01）および添付付録に記載されている条件をご理解いただき、下記の署名による承認をもってこれに合意していただきます。コダックの販売契約書、ユーザー契約書、保守契約書、発注書、またはその他適切な文書の署名をもって承認することもできます。

お客様側ご担当者： _____

署名： _____